

～遊休農地を利用した給食食材の供給から人間育成まで～

埼玉県日高市

取組主体:株式会社アンジェリカ

取組開始時期:平成22年4月

解消面積:2.5ha(平成25年10月時点)

導入作物:保育園給食用食材全般 サツマイモ、タマネギ、ニンジン、ジャガイモ等

1. 取組のきっかけ・経緯

株式会社アンジェリカは東京都内で保育園を経営しており、子どもの食の安全と課外活動の充実を図るために、農業参入を検討していた。そのような中、埼玉県による企業の農業参入に関する説明会に参加し、農業参入に関する相談を重ね、日高市での農業参入が決まった。当市は、都内から1時間程度で訪れることが出来、自然環境も良好であり、農業体験事業や都内へ配送するのに適地であった。

農業参入にあたっては、市から遊休農地のあっせんを受けるとともに、公益社団法人埼玉県農林公社の農業研修事業により農業経験を積んだ後、当初は約1haの遊休農地において営農を開始した。

2. 取組内容

平成25年は、再生した2.5haの農地において保育園の給食食材としてサツマイモ、ニンジン、ジャガイモなど30種類以上の野菜を栽培しており、農作物を毎週農場長が各保育園に配送している。

配送の際、直接園児に手渡しして野菜の出来るまでを伝えるなど「農育」を行っている。これは、保育園として、農を通じた豊かな人間性を育むことを目的に行っており、食の連続性を理解し、人や自然へ感謝をする心を農業を通じて理解してもらう人材育成の取組である。

このほか、田植えやイモ掘りなどの農業体験事業も園児と保護者、職員が一体となって実施している。

3. 今後の課題・予定など

今後は、耕作地を5ha以上に拡大したいと考えており、平成25年中に新たに農業生産法人を設立し、農地を恒久的に活用できるよう取得も視野に入れている。

さらに安定生産に向けて、井戸などの農業施設の整備や、地元で雇用しているパート従業員に加え、事業の拡大に伴い、新規に県農業大学校の卒業生から2名の正職員採用を行う予定である。

4. 活用した補助事業

特になし



再生中



再生後